3

国 語

第 1 問 次の各問いに答えよ。

問 1
次の傍線部のカタカナをそれぞれ漢字に改めよ。
(楷書で記すこと。)

- (2) (1) 時代の波にホンロウされる。 田舎のシンセキの家から荷物が届く。
- (3) そんな話は砂上のロウカクだ。
- (4) イロウのないようにもう一度書類を見直す。
- (5) 今は亡き人をツイボする。

5

4

6

3

2

- (6) 少々ゴヘイのある言い方だ。
- (8) 保険のヤッカンをよく読む。

(7)

アイマイな答弁に終始する。

(9) ユウカイした犯人を検挙する。

9

10

8

- (10)激しいシットを覚える。
- 問 2 次の傍線部の漢字の読みをひらがなで記せ。
- (2) (1)和服に足袋といういでたちで出かける。
- 雪崩をうったように人が押し寄せる。
- (3) 遠くの知人の訃報が届く。
- (4) 選挙区を遊説して回る。
- (5) 動物には帰巣本能がある。
- (6) 彼と彼女は懇ろな間柄だ。
- (7)兵糧攻めにあう。
- (8) 畑の畝が何本も見える。
- (9) ガスをボンベに充塡する。
- 書類を速やかに提出する。

20

19

18

17

15

16

14

13

12

11

4

誕生期 メラ 初期との __ から芸術 ヘンリ 九年は写真誕 からも分 相違である。 表現としての意識が芽生えてい フ かるように、 と 生から オツ クス・ 注₁₈₀年の ゲ すでに美術作品とし トール レオタ 節目 ボット イプや を迎える。 が発明 カロタ た。初期の 注目したいのは、 したカロ ての到達を示して イプに始まる一九世紀中葉の写真は、 作品はいま見ても美しく、 タイプは、 写真術の黎明 65 0 たとえばウ 期とデジ 写真集 タ

画像」という言葉を借 全体がデジタル化したからである。 だが画質が劣っているにもかかわらず、 メージは電子工学とIT技術の開発史上にある。 「コード」なのである それらと、 30万画 [素程度のデジタル り れば、 デジタルイメージとは複合的な技術のうえに 写真術がレンズと感光剤の歴史の上にあるなら、 初期の画像は、 デジタルが急激に成長したのは、 哲学者ヴィレム・フルッサーが使った「テク そのまま比較することはできな イメージではなく社会 成り立つ、 デジタル いだろう。

的な役割を「テクノ画像」としての写真が担うことになったからなのである。 たがって平成の大逆転が起きたのは、 以降のデジタル写真を成り立たせているのは、 ムもまとめて カメラを用いて作成され 「写真」と呼ばれる。 た画像という意味で だが両者の 複合的な技術によって社会全体がコ プロ あい は 180年前 だにはそれなりの グラム言語を含む複合的なコード 0) ダ ゲ レ オタイ 開 きがある。 プも今日の ード化され 一九九 イ注 、その - である。 ンス ○年代 タ グラ

るようになる。 写真はもはやそれ自 セスに、 デジタル ジ さまざまな他の技術が介入するようになる。 がい 写真は地図と合体して「複合的テク イメー ったん誕生すると、ありとあらゆるデジタル技術が次々と、そのうえに載ってくる わたしたちが社会のIT化と呼んできたのはこうした複合化 ジを理解する鍵は、この 単体で独立したものではありえない。 I にある。 ノ画像」となり、 たとえばGPSデータというコード 「テクノ画像」というコー 製作から流通まで、すべて 「現在法 地 0) のことだろう。 イ メージを提 化 が され 0) プロ 供す つ

成の30 100倍速で進み、 年は江 搭載された時には は今で 人間の顔を認識できないでシャ 戸の30年どころか、 は当たり前 力 メラは顔を認識するどころか、表情を識別するようになる。 なぜこんなものが必要なのだろうと訝れ になった、 複製技術としては印刷術以来の革新期である。 顔認識機能がある。 ツ ターを切る人間が、 フレ そもそもいるのだろうか。 ったカ のな メラマ かにある顔を認識 ンも多かったはず する機 し 10 かし 倍速

ことまで自動化され ラの たとえば集団 のな が れば、 か 「顔認 の笑顔や目を閉じている顔をチェッ 証 人間がすることはほとんどなくなるわけだが、 0) 0 ために必要不可欠なテク ラ フ オ だからである クして、 ノロジーだとわかってくる。 カメラに判断させる。 この段階にい たってカ

コ

0)

ため

プ

のは、 それはほぼ内容を規定するようになっている を成立させて で表したが、 「目に見える対象の世界」ではなく、 ヴィ 「メタコード」 多種多様なコ V の製作 フル 13 要するに現在の画像が示してい るプ ッサーは ということに 口 から流通までを含むさまざまなプログラムである。 F セスであり、 \dot{o} 「テクノ画像はテクストの I 」としての形式 なる。 眼には見えな 「複合的なテクスト」だということである。 デジタ るの ル化された現代で であり、 6 1 は、 テク メタコード」 か 個 つて 々 ノ画像として のコ 0) 風景画 ド は、 と、 Z をつない や肖像 通常それらはテク 0) の写真を成立 かなり抽象的 形式 で 画 0) ここでの が 力 いる 描い が させ コ な言葉遣 絶大であ たような l F 7 テ ノ画像 クス 15 17

ろう。 ら写真はインフラストラクチ フォン市場の爆発的な成長だ。 な性質をもち、 メラのデジタル化と並んで平成の重要な出来事は、 だがメタコードとしてのテクノ画像が、 これによって、 同時に写真は瞬時に拡散され、 カメラは常に身につけているという意味でポータブルよりもウェアラブル ヤ 写真史的にも、 ーとして の性格を強めてゆく。 本格 むしろこちらのほうがより長く続く衝撃とな 的に日 ■」される傾向を帯びることになった。 i 常生活を変えてゆ P h 0 n e の登場とそれに続くス くのは、 そこからで 7 るだ ある

を占めるようになり、それはエネルギーがそうであるように、 も、社会にとって欠くことのできないものである。 クチャーは、 ラットフォー ンフラの一部になりつつある。 現代社会では たとえば ムという言葉を使うことが多い。 環境 0 エネルギーがそうであるように、 整備や情報基盤、 ソフトウェ 個々の 写真が社会のコード化にとって中 ア プラッ 0) 物質としては時代によって変化しな 動作 1 -環境に ふだんそれを意識することのな ・フォ つ ムを支えるイン 11 て話 題にすると -心的な フラス 役割 がら トラ プ

意識されない のよう な、 からインフラなのだとも言えるが、 位置情報と組み合わせた写真情報サービスはその顕著な例だろう たとえば グーグ ル が提供する「ス

年で39 カ なく、 あらゆる場所をつなげて、 の視点で撮影された では車載 つ た 360 二〇〇七年に開始されたストリートビュ 質的にも多様化している。 を彷彿とさせるが、 ビユ 国 度の視界を得られる。 力 ウェアラブルな地球儀の実現である ラだけでなく、 は前例のない 0 「ドッグ 0 都市、 地球の 一枚の風景写真にするということだろう。 ブランドとして成長を続けている。 ビュー」が バ 距離にして その拡大のスピー イクや徒歩などさまざまな撮影方法が稼働 そこから派生するさまざまなビジネスは言うまでもないが パ ノラ 500万マ 登場するなど、 7 ・がポケ しは、 ルに ドはこれもまた驚異的で、 車が通れるところならどこでもパノラマ写真を ッ 1 及ぶ道路をカバ に入り、 力 バ ーする空間 どこへ行 そのコンセプトは、 ホ注 ーしたと発表された。 ル が量的に拡大するだけで くにもそれ ^ · Ũ サ ル イス ビス開始 が 現在 究極的 八年に |地を示 から5 、ス

これに先んじ て、 社会の コ 化に使われてきたの が 証 明写真用のポ で ある。 その

された。 大なメタ フラ化し まりは一九世紀の司法写真の始まりにまで遡るが、 そこでの ていると見てよいだろう。 コ ドが支えている複合的なテ 「顔写真」 は、 単なる肖像ではない。 たとえば二〇一八年にはスマ クノ画像にほかならな 現在 特徴検出 0 使われ 6 1 ホ 8 \dot{o} 画像 方は質的にも量的に 口 ア ッ ク 解除に顔認証 力 イヴとい った、 にが実装

まれることは言うまでもな た顔では された、 配備される世 全世界 複合的 なく、 のユ 0 膨大なデー ザーの 中でもある。 なテクストとして存在し 顔写真が管理される世の中は、 6 1 タの集積であ そのような世界で顔写真は、 ている。 り、 そこに消費行動をはじめとするさまざまな履 インフラ化した顔写真が 高度なセキ まさにさまざまなプ ユ リテ 1 示す 体 制 Ó 口 が 世界 フィ 肉体 中 0 歴が を付 空港に つ

味でもあ フラト 多くの読者は、 このように情報化社会のインフラとな ンスタグラムが「テレグラム」 が いうア グラムは V の言葉とすれば、 語 現代社会の の主要なジャンルだが、 の響きからインスタグラムを連想するだろう。そこで思い出してほし インフラ言語として イ すなわち電報から発想された造語だという点である。 ンスタ+グラムは瞬間性の言葉だろうか。 った写真や映像を、 そのどちらもが情報化社会の根幹をなす時代という意 Ö, 写真や動画を含む映像である。 わたしは「インフラグラム」 同じ発想から、 風景と肖像は テレーグ 13 のは、

グラムは映像のブラッ グラムとなったのである。 り重要なことは、 180 てい 写真という平板なイメージは、 年前に風景写真や肖像写真として誕生したア ったということである。 それまで目に見えていたことがイ クボックス化を伴う。 「平成」はそれにふさわしい時代の名と言えるかもしれない インフラ化とはすなわちブラッ 限りなくフラットに成長してゆくメディアとして、イン ンフラ化することによって、 が、 日常生活を支えるまでに状況は変化し クボ ツ クス化 にである。 目に見えなく が、 イ ンフラ それ ・フラ

(港千尋『インフラグラム 映像文明の新世紀』による)

注 ダゲレオタイ インスタグラム プ 投稿してウェブ上に公開することができる。 SNS(ソーシャル・ネットワー 一八三九年にフランスのダゲー ji が発明した銀板写真法 ク・サービス) の一つ。 個人の ~° 写真を

インフラストラク の大逆転 チャ 平成の約三十年間のうちにデジタルカメラがアナログカメラに取っ 道路や鉄道、上下 水道のような社会の基盤となるもの て代わったことを指す

ポートレート――人物写真、肖像写真

問 3				問 2												問 1	
	6	1	つず						1					ア	うち		
空欄	持続性	独立性	つずつ選べ。	空欄					彷彿					訝った	から	重廃	
П	性	性	~~	I				22	彷彿とさせる				21	た	そわ	線。	
•			た	•					しせっ						だぞっ	ア	
ш		2	ただし、	N					る						うちからそれぞれ一つずつ選べ。	二重傍線部ア・イの語句の本文中での意味として最も適当なものを、次の各群の①~⑤の	
1=		複	同	15	(5)	4	3	2	1	(5)	4	3	2	1	ずず	語	
入る		複合性	£	入る	偉	過	無	似	比	不	丕	怒	関	非	選	句の	
語と			のを	語と	大な	去の	意識	たも	較し	満を	忠議	りを	心を	非難した	~ <u>`</u>	本文	
して		3	二度	して	もの	流行	のう	のと	なが	不満をためた	不思議に思った	怒りを覚えた	関心をもった	た		中で	
最も			以上	最も	とし	とし	ちに	して	ら紹	た	った	た	た			の意	
適当		社会性	選ば	適当	て酋	過去の流行として懐か	重ね	思い	比較しながら紹介する							味と	
なま		177	ない	なま	偉大なものとして尊敬する	かり	合わ	浮か	る							して	
]に入る語として最も適当なものを、			同じものを二度以上選ばないこと。	に入る語として最も適当なものを、	る	しむ	無意識のうちに重ね合わせる	似たものとして思い浮かべさせる								最ま	
		4					<u>ත</u>	させる								適の	
次 の		正確性	I	次の				5								当な	
(1)		性	23	(1)												もの	
(6) O)			N	(6) O)												を、	
うち		(5)	24	うち												次の	
から		遠隔性		から												各群	
うそれ		性		うそも												#T Ø)	
次の①~⑥のうちからそれぞれ				次の①~⑥のうちからそれぞれ一													
れ 一				れ 一												(5) O)	

① 象徴

② 監視

③ 共有

4

統一

(5)

消費

⑥ 総 体 III 26

つずつ選べ。ただし、同じものを二度以上選ばないこと。■ 25

問 4 どういうことか。 傍線部A「いまや写真は社会全体のコー その説明として最も適当なものを、 ド化のための、 次の ① ~ ⑤ プラット フォ のうちから一つ選べ。 ムだ」とあるが、

27

- (1) をも含んだも 顔を認識する機能が搭載された写真は、 0) となり、 IT社会を発展させる基盤になっ 単なる肖像画ではなく個人や ているということ。 人物に 関する情報
- (2) 作業を大幅に削減 証という技術が取り入れられた写真は、 IT社会を推進する原動力になっているということ。 それまで人間が行ってい た人物 関わ
- 3 の距離を縮め、 人間の表情まで識別できる写真は、 IT社会を円滑に築くために不可欠な土台になっているということ さまざまな技術と組み合わせることでより 人間と機
- 4 なり、 デジタル化の進んだ写真は、 IT社会の情報量の多さを削減するための道具になっているということ。 最新の技術によって大量の情報を一枚に圧縮できるように
- (5) 害する危険性もあり、 個人を特定する機能を有する写真は、 IT社会に疲れた人々の逃げ場になっているということ。 利便性が向上したものの個人のプライバ
- 問 5 も適当なものを、 傍線部 В 「その顕著 次の な例」 1 (5) とあるが、 のうちから一つ選べ。 どのようなことにつ 28 15 ての 例 か。 その説明とし
- 1 功を収めている例。 写真を利用したグ グル社のサービスの中で社会のコー 化を促進させるために最も成
- 2 に普及し 位置情報と写真を結びつけた技術が社会のコ ている例。 化のプラット フォ ムとなり、 世界的
- 3 一部となっている例 気づか ないうちに写真が社会のコ F 化のために欠かせない 1 ンフラストラクチャ 0)
- 4 にな ウェアラブルな性質をもつようになった写真が社会の つ ている例 コ 1 F 化を支えるプラ ツ 1 フ
- (5) 成功してい 社会の コ 、る例。 ード化が進んだ結果として写真がインフラ スト ラクチャ 0) 部となることに

問 6 なっ 体例として誤っているものを、 化」の特徴として紹介している。 傍線部C「イン ている著作に おいて筆者は「仕組みや因果関係がみえない」ことを「ブラックボッ フラ化とはすなわちブラックボ 次の このことを踏まえたうえで、 1 ⑤のうちから一つ選べ。 ックス化である」とあるが、 「ブラッ 29 クボッ 本文の出典と クス化」 の具 クス

- 1 利用料金を払わなくても、 SNSに写真や動画、 文章などを投稿できること。
- 2 現金を渡さなくても、 カードやスマ ・トフォ ンを機械にかざし て商品を購入できること。
- 3 電話線がない のに、 携帯電話やスマー ・トフォ ンを通して音声のやりとりができること。
- 4 内容は全く同じなのに、 紙のほうが電子書籍よりも読書 している実感がわくこと。
- (5) フィル 4 にはない のに、 DVDを機械にいれると音声や映像が再生されること。

問 本文の 内容と合致するもの を、 次 の①~⑤のうちから一つ選べ。 30

- 1 いるデジ カロタ タル写真のほうが芸術作品になりやすい。 イプのようなアナログ写真とデジタル写真とを比べると、 映像技術 の点で優れて
- 2 か ら社会の 複数の技術が詰め込まれているテ 中心的な地位を奪っ 7 13 っった。 クノ画像は平成 0) 時代を通して、 徐々にデジタ ル 画像
- 3 ンフラ スマー ・トフォ 0) 問題点が浮かび上がってきた。 ンなどの普及で写真とイン タ ネ ッ 0 関係が密接になると、 玉 内 0 情報
- 4 持ち運び ストリ 0) 可否という点で異なっている。 ・ビュー と顔認証システムは写真を最新技術と結びつける点では共通するが
- (5) 目に見えない基礎的部分から支えている。 物質性を失って多くの情報を内包するようになった写真は、 デジタル化した社会生活を

『天網恢々として、 乾坤かならず私あらん』といへり。 善悪をなす者、その報いなしといふ事なかれ。只その報いの時節、 不智にしてよこしまをかまへ、 に所なし』と論語にもしるせり。 正直をくらます。 は天理にしたがひ、 所にか天を尋ねてみる事を得んや。 すべて只人の心にあり。 はきけどもしづかにして音なし。蒼々いづれのところにか尋ねん。高きにあらず遠きにあらず て形を求むべからず。人々心のうちに皆そなへてこれあり。康節の邵先生いへ ̄d ̄事あり、『天 余り人にも余りて、たとへば一粒の毒丸のよく命を奪ふがごとし。されば天道とて、 まことに善をなす事は、 行へども、 とへば、 すべて人の善悪、 まかせ れ天道の理なり。 咲き実りおさまる事、 れ万物ここに生り』とあり。 をさしてか天道とはいふべき」と仰せられしに、浮世房平すやう、 いづれのところにか尋ねん』といへり。 今はむ 『豆を植うれば豆を得、 悪をなして福あらば、 ある、 心をあざむくは、これその天道をあざむくなり。 隠れがたくのがれがたし。只その報いの来たることの、 悪をなしてその報いをのがれんがために、高く飛んで雲をしのぎ、 かし、浮世房御前に伺候申しけるきざみ、 けぬ禍にか b 善はなほ足らざるがごとし。 これ天道のすぐなるところなり。人をあざむく者は、まづみづからわが心をあざむっ あはれみを知らず、 ば、 他人はこれを信ずべく、天道はいつはるべからず。『罪を天に獲れば、 人として天理にしたがふ時はながらへ、 かならずその報いなきにあらず。善をなす者には、 求めずしておのづから利あり。 疎かなれども漏らさず』といへり。 悪は天理にそむく。 かるなり。 定まりて改まらず。 人の心一念を生ずれば、天地ことごとく皆知る。善悪にもし報いなくば なせどもなせどもあくことなし。すこしなれども悪をなせば、 これすなはち天道に 粟を植うれば粟を生ず』。 四季のめぐり、 これを知りて身に行ひ、 不信にして偽りあざむくやからは、 この故に、 不義にして欲深くむさぼり、 高きにもあらず、 『天のことは音もなく臭もなし。 空の色の蒼々と青く、ほとりもなく際もなし。 人の念慮は天よく知ろしめす。 鳥のさへづり獣のなく、 日悪を行へば、 仁義礼智信は天の常の道なり。 いにしへ今すこしも違はず、 人の欲にしたがふ時は、 g ありとい 「『天の縡は音もなく臭もなし』とは、(注)」と 遠きにもあらず、 漢の馬援がいはく、 善悪さらにその報いなしといふべからず。 心にしめて忘れざれば、 偽りをもつて誠をかざり、 天理にたがふ時はほろぶ。 悪はおのづから余りあり』 不礼にしておごり、 ふべし。 遅きと早きとをあらそふ 天道にそむくが故に、 「『天何をかいふや。 いまだ到らずと知るべし。た みなこれその節に応ず。 いはんや形あらんや。 天道これに報ゆるに福を 只人の されば善をなして禍来た 善に 万物の生じて栄え、 『身を終ふるまで善を 思ひの外なる害あ 遠く走りて地をくぐ 人もし不仁にして物 f h 天の道に 人をあなどり あ 空にあふぎ それ天理に 私をもつて にあり。 みづから とい いづれの 四時行は かなふ かなら のみな 11 \ n づ ŋ

	注
きざみ-	御前
——	―浮世房が仕えている主君。

幸 事。

縡——事。

仁義礼智信――儒教で、人が守るべき五つの徳目。

問1 傍線部ア・イの読みを現代仮名遣いのひらがなで記せ。

ア 報 い

31

32

1

故

問 2 傍線部あ~うの語句の本文中での意味として最も適当なものを、 次の各群の①~⑤のうち

からそれぞれ一つずつ選べ。

33

2

新たに

あ

さらに

① そのうえに

③ まったく

④ そのまま

⑤まさか

いあく

34

① ためらう

③ 退屈する

④ 成し遂げる

⑤ 満足する

う すぐなる

35

2

身近である

① 正直である

③ 即決である

④ 立派である

⑤ 正確である

	問 3
からそれぞれ一つずつ選	波線部a「申す」
れ一つず	「申す」
つ選	c
べ。 a	「給ふ」
36	「給ふ」の敬語の説明として最も適当なものを、
С	明の影
37	脱りと
	して
	最も
	適当
	なも
	のを、
	次の①~⑥のうち
	(1)
	ののう
	っち

- 1 尊敬語で、 作者の天道に対する敬意である。
- 2 尊敬語で、 浮世房の天道に対する敬意である。
- 3 (4) 謙譲語で、 尊敬語で、 浮世房 作者の浮世房に対する敬意である。 の御前に対する敬意である。
- (5) 謙譲語で、 0 御前に対して敬意である。
- 6 謙譲語で、 浮世房 作者の御前に対する敬意である。

問 4 空欄b dに入る助動詞と て最も適当なものを、 次の①~ ⑥のうちからそれぞれ一つず

1 つ選べ。 るれ b 38 d 39

4

(5)

ぬれ

6

させ

- 2 る
- 3 たる
- 問 5 波線部 е 「いはんや形あらんや」 の文法的説明として最も適当なものを、 次の①~ う **⑤** の う

ちから一つ選べ。 40

- 1 副詞+名詞+ラ行四段活用動詞+適当の助 動詞 +疑問の係助 詞
- 2 副詞+名詞+ラ行変格活用動詞+推量の助動詞 +反語の係助詞
- 3 感動詞+名詞+ラ行四段活用動詞+適当の 助動詞+詠嘆の間投助詞
- 4 感動詞+名詞+ラ行変格活用動詞+推量の 助動詞+疑問の係助詞
- 感動詞+名詞+ラ行四段活用動詞+適当の助動詞+反語の係助詞
- 問 6 空欄 f g h i に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、 次の①~⑤のうち

から 一つ選べ。 41

(2) (3) (1) 命 身 g g g 私 h h h 理 福

理

理

福 理

(5) (4) 心 心

g

私

h

h 優

g

劣

の前に省略されている内容を補うものとして最も適当なものを、 傍線部A 「只その 報い の時 節、 いまだ到らずと知るべ し の意味がよくわかるように、 次の① ⑤のうちから一つ Α

問

迭べ。42

- ① 善悪に対する天の報いを必要としていない場合には
- ② 善悪に対する報いを天が迷っている場合には
- ③ 善悪に対する報いを天がまだ行っていない場合には、
- ④ 天の報いである悪を人が受けても困らない場合には、
- ⑤ 天の報いなどないと人が信じている場合には

問 8 傍線部 В Cの解釈として最も適当なものを、 次の各群 1 **⑤のうちからそれぞれ** つ

選べ。

B 天網恢々として、疎かなれども漏らさず 43

- (1) 天の張る網は広大で目が粗い ようだが、 決して悪人を逃すことはな
- (2) 天の張る網は広大で目が届かないようだが、 すべての善悪を捉えてい
- 3 天の張る網はい い加減に見えるが、 決して善悪の報いを間違えることはな 13
- (4) 天の張る網は大きくて厳重でないようだが、 必ず悪人を捕らえて善人に変える
- (5) 天の張る網は大きくて目も粗いようだが、 すべての善人を見つけて褒め称える

C 罪を天に獲れば、いのるに所なし 4

- (1) 人が天に自分の罪を転嫁すると、 その罪は永久に消えることはな 6 1
- 2 人が天に嘘をつ いたら、その罪を謝っても許してもらえな
- 3 天の意に背いて罪を得ると、 その罪は祈っ てもどうにもなら 61
- (4) 天の意に逆らっ て人を欺くと、 居る場所がなくなっ てしまう
- 天から一 度でも罰を受けると、 天国には行くことができなく

問9 傍線部D「これ」の指す内容として最も適当なものを、 次の①~⑤のうちから一つ選べ。

45

- 1 ると天の存在を疑ってしまうが、それは人に早合点する欠点を天が気づかせているという 人は天の真意を十分に理解できず、 善をなして禍を受けたり悪をなして福を受けたりす
- 2 こと。 望を失ってしまうが、それは人にまだ努力が足りないことを天が教え知らせているという 人は家が栄え幸福に暮らしている者を見ると、うらやましく思い自分の運命を悲観し希
- 3 て自分の信念に従って行動し、誤りを犯した時に人は初めて天道の存在に気が付くという 天は人の心の中に必ず存在しているが形もなく目に見えないものなので、 天道を無視し
- 4 ということ。 を悪を行う者には禍を与えるので、 天は音も臭いもなく見えないものであるが、 人は仁義礼智信を実行し天道にそむかないようにする 人の善悪を正確に捉えて善を行う者には福
- (5) こと。 まであるから、 天は善をなす者には福を与え悪をなす者には禍を与えるが、 悪をなす者がそのまま悪を続けていると思いもかけない禍を受けるという それを与える時機はさまざ

(国語の問題は終わり)